



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MI-TSU KASHIWA NO.20 —

平成30年9月26日発行

ご意見・ご感想,ありがとうございます!

前号でお願いしました, 学習発表会のご意見・ご感想ありがとうございます。私たち教員にとって励みとなるご感想が多く, 大変嬉しく思っております。来年度の学習発表会がよりよいものになるよう, 教員間でも今年度の反省点などを確認していきたいと思えます。メッセージはまだ募集しておりますので, よろしくお願いします。

○学習発表会お疲れ様でした。練習期間が短い中で完成度の高い発表を見せていただき, とても感動しました。娘の緊張感が伝わり, 私もドキドキでした (笑)

(1年 O. さん)

○1年生が初めての発表会でしたが予想外にしっかり出来ていてビックリ!お兄さん, お姉さんたちもハキハキとすごく立派でした。これも指導して下さった先生たちのおかげだと思います。最後の全校音楽ではみんなのハーモニーに少し感動しました。ありがとうございました。

(1年 T. さん)

○発表会お世話になりました。かわいい衣装を着せてもらって, 子どもはとっても嬉しかったと思います。ダンスも頑張っている姿を見ることができて嬉しかったです。ステージいっぱいカラフルできれいで, みんなとってもかわいかったです。ありがとうございました。

(2年 A. さん)

○先日は学習発表会お疲れ様でした。昨年の発表会から1年たち成長を感じられる発表会でした。大きな声で友達と一緒に頑張った踊り, 群読素晴らしい出来でした。ご指導ありがとうございました。今年度も残り半分となりました。改めてよろしく願いいたします。

(2年 K. さん)

○どの学年もとても素晴らしかったです。1年1年成長が感じられて, 今回もさらにその成長をみることができました。来年もとても楽しみです。

(4年 S. さん)

○最後の学習発表会は, 最高学年らしい立派な姿を見ることができました。6年生はそれぞれ役割もあり忙しかったと思います。学習発表会の各学年の発表がスムーズにできたところも素晴らしいと感じました。

(6年 T. さん)



様々な方々のご意見をお聞きしながら……

授業をみてもらいました —南教育事務所所長等訪問—

9月20日(木)、南教育事務所仙北出張所伊藤所長をはじめ6名の先生方に来校していただき、3校時の授業をみてもらいました。どのクラスも落ち着いていて、めあてをもって授業していると言っていただきました。発表するときみんなの方をみて最後まで元気に発表すると自分の考えがみんなにもっと伝わるなど、これから頑張っていく点も教えていただきました。昨年度後半、本校の教頭を務めてくださっていた大阪副主幹も一緒に来校し、子どもたちの成長した様子を見ることができたと喜んでいました。



地域での様子をお聴きしました —学校・民生児童委員連絡協議会—

9月21日(金)、学区内の民生児童委員の皆さんに来校していただき、学校との連絡協議会を行いました。民生児童委員の皆さんからは、「熊や猪などの出没により、地域の自然に関わる体験が出来なくなったのがさみしい」「ほとんどの子どもが朝元気にあいさつしてくれる。中には疲れているのか、眠そうで元気がない子が見られるのが気になる」「町内の行事に参加する子どもが少なくさみしい」などのご意見をいただきました。子どもは学校で見せる顔と地域や家庭で見せる顔が違うものです。このような情報交換を大切にして子どもたちの教育に生かして生きたと思います。



米澤先生ありがとう! 今度は本当の先生として……



夏休み明けから行っていた米澤邦彰先生の教育実習が、9月21日(金)で終了しました。2校時後にはお別れ会を行いました。4週間一緒に過ごした子どもたちもさみしそうでした。さすが本校のOB、学習発表会の会場準備などにも自分から率先して手伝ってくれました。下の感想にもあるよう、短い期間でしたが、多くのことを学ぶことが出来たようです。元気に明るく接してくれた子どもたちのおかげで、先生になりたいという気持ちを強くもてたことが何よりも嬉しく思います。大学にもどってから子どもたちからももらったエネルギーを力にして頑張ってください。そして、将来、今度は本当の先生として本校に戻って来てくださいね。

教育実習を終えて—実習記録の「まとめ」から抜粋—

4週間の教育実習をとおして、大学では決して学ぶことができないことを学ぶことができました。また、大学では一つの授業に何日もかけて準備できるのですが、学校現場では、毎日新しいことをやらなければならないため、知識も技術もきちんと身に付けておく必要があると感じました。先生方の講話からは、学校がどんな目標を立てて経営されているのかや、それぞれの先生がどんな役割をもって活動しているのかなどを教えてくださいました。

学び続ける子どもを育てるためには、教師自身が学び続ける必要があると思いました。